

## 環境学習・啓発機能計画（案）

新一般廃棄物処理施設においては、環境学習・啓発機能計画として下記のコンセプトに基づいた設備等の内容を導入したいと計画している。

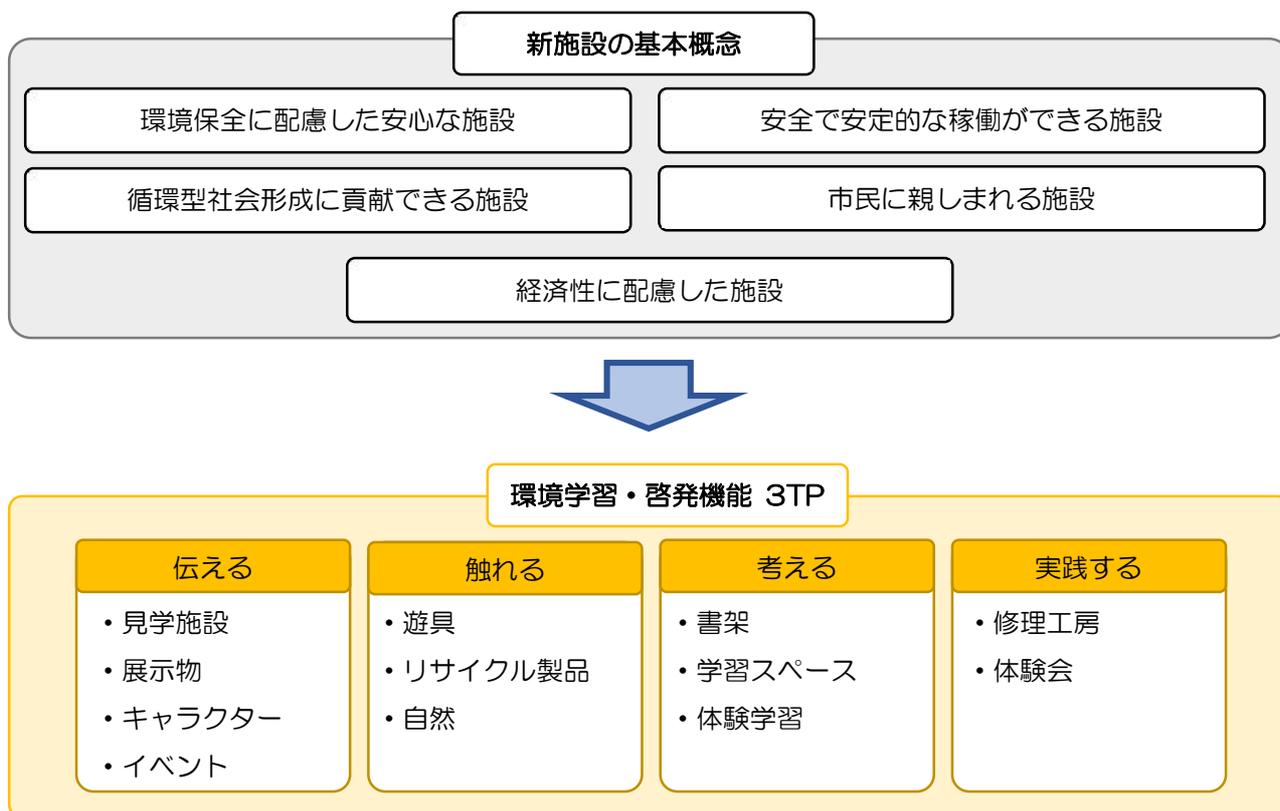
各社にて、下記の内容を参考として、環境学習・啓発機能に係る具体的な設備等の費用を算出すること。

## 1. 新施設における環境学習・啓発機能のコンセプト

新施設の5つの基本概念を踏まえた、3TP:「伝える(tell)」「触れる(touch)」「考える(think)」「実践する(practice)」を体験できる環境学習・啓発機能とする。また、環境学習・啓発機能にはSDGsの観点についても盛り込むものとする。

## ※3TP（読み：ステップ）

足取り、歩み、進行上の段階、三段跳びのジャンプ前等の意味から、現施設を超越し次の世代へつなげるものとする新施設のコンセプト。



環境学習・啓発機能のコンセプトに基づいた設備計画、プログラム案を次に示す。

## 2. 環境学習・啓発機能に係る設備等計画（案）

見学者・来訪者が何度でも来たくなる施設（リピーターが期待できる施設）を目指すものとし、下記の設備等を計画する。なお、備考欄の網掛けの部分は必須、それ以外は任意で選択すること。また、各設備は運営期間中に1回更新すること。

項目		内容	備考（設備等）
見学	処理工程見学ルート	ごみの処理工程の見学	○施設の特長を効率の良く知ることのできる見学ルート設定
	施設説明 VTR	施設の概要説明	○説明が行える大会議室、視聴覚設備 ○センターの特長であるシステム構築による連携を紹介するビデオ制作【伝える】
	案内板	ごみ処理学習の補助	○タッチパネルによる施設全体の案内 ・タッチパネル型デジタルサイネージインフォメーションウォール（エントランス部分）、3Dプロジェクション（施設・設備内部疑似体験） ・説明用ディスプレイ（見学コース上の適切な個所）
	模型	ごみ処理学習の補助	○各施設の模型（華美にならないこと） ○ごみ収集車のハッチの模型（華美にならないこと）
	その他処理工程に係る展示物	ごみ処理学習の補助	○展示パネル等 ○発電量等リアルタイム表示装置（ディスプレイ） ・発電量、賄える世帯数、CO2換算値（基準年との比較による削減効果）
情報	展示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理やリサイクルの歴史や仕組みの紹介</li> <li>・身近な環境問題や、地球環境問題等の紹介</li> <li>・身近な動植物の紹介（水槽展示、剥製展示、写真掲示等）</li> </ul>	○展示スペース ○展示パネル、掲示板、各種展示物 ○一人が一日に使う資源量（又は排出量）と重さ等を比べるシーソーなどの遊具【伝え、触れる】 ○ごみピット、ごみクレーンを模したクレーンゲーム機【触れる】 ○自転車型、手動型の発電マシーン【触れる】
	映像・視聴覚コーナー	環境啓発に関する映像プログラム	○情報掲示板（デジタル等）を設け、環境等についての情報提供及び啓発を行う【伝える】
	図書・資料コーナー	ごみ問題、リサイクル、その他環境問題等に関する図書・資料の閲覧・貸出	○環境学習図書を整え、市民の環境学習の場と憩いを提供【考える】（書架、自習スペース）（20～30m <sup>2</sup> 、10人程度分）
	検索コーナー	ごみ問題、リサイクル、その他環境問題等に関する情報検索	○パソコン等の情報検索端末（自習スペース等に設置する） ○タッチパネル式ディスプレイにて環境啓発ツールを用いて学習する【考える】
催事	講演会	講演会や各種イベントの開催	○見学-施設説明 VTR 用の会議室や、他の居室を活用した左記のもの。
	各種研修・イベントの開催	各種研修や、婦人会等によるイベント開催	

項目		内容	備考（設備等）
	各種会議等へのスペース貸与	地域活動やグループ活動の打ち合わせ・会議等	
体験	体験学習の実践	【体験学習メニュー（例）】 ・廃材を用いたリサイクル品作り教室 ・小型電化製品、おもちゃ修理指導	○左記ような体験学習 ・修理工房と設備等を共用すること。
3 R	リサイクル展	・フリーマーケットコーナー ・再生品展示コーナー ・不用品情報交換コーナー（展示・情報検索システム） ・キャラクターグッズ販売	○展示・販売スペース（キャラクターグッズ制作・販売） ○セルフ式カフェ ・飲食物の自動販売機 ・コーヒーマシン（メーカ） ・飲食スペース ○パソコン等の情報検索端末 ・情報の展示スペースと兼用としてもよい。
	修理工房	・木工家具工房 ・家庭用品工房	○廃棄物（資源）を用い、再製品を生み出すアトリエを設ける【触れ、考え、実践する】（4 m×3.6 m程度の修理スペース及び必要備品）
自然	ビオトープ遊歩道の整備 自然観察公園	自然観察、ウォーキングコース	○屋上等の空間を利用した CO2 を利用したベジタブルガーデン又はビオトープ等の施設（生き物が集まる、旬の野菜、季節毎の草花）【伝え、触れ、考える】
交流	ボルダリング	地域住民が集う運動の場	○ボルダリング ・施設の壁面に設置
その他	提案によるもの	（提案）	（提案）

注) 施設整備基本計画 P.69 をより具体化したもの。

### 3. 環境学習・啓発に係るプログラム等計画（案）

上記で計画した設備を用いて以下のプログラムを計画すること。見学、体験を通じ、循環型社会、低炭素社会、自然共生について学び、考えるプログラムを計画すること。

#### 3-1 循環型社会

廃棄物について：廃棄物から循環資源といわれる有用物を回収することにより、環境負荷の削減に寄与する「循環型社会」を形成することの意義を紹介する【伝える】。

子ども向け学習：リユースの取り組みについて紹介し【伝える】、捨てれば「ごみ」使えば「素材」となる資源を大切に「こころ」を養う【考える】。

#### 3-2 低炭素社会

最新技術の紹介：高効率の蒸気タービン発電や、バイオガス化施設によるエネルギー回収技術を紹介し【伝える】、次世代の環境について考え、行動してもらおう【考える、実践する】。

子ども向け学習：手回し発電機等により、電気（エネルギー）の大切さについて学ぶ【考える】。環境シーソー等により、資源の大切さについて見つめなおし、リデュースについて考え実践する【考える、実践する】。

見学者通路を活用したゲーム（ウォークラリー等）により、環境に触れ合い、環境について見つめなおす【触れる、考える】。

### 3-3 自然共生

循環資源の活用：リユース・リサイクルの体験を通して、限りある資源の有効活用について考え、自然資本に社会経済が支えられていることを知ってもらう。【考える、実践する】。

子ども向け学習：ビオトープをとおし、人と自然のつながりを再確認し、命の大切さ（こころ）を養う【触れる、考える、実践する】。

### 3-4 その他

キャラクター：情報提供や環境教育に使用する新施設のイメージキャラクターを作成する。（著作権はセンターに帰属すること。）

グッズ等の収益により財政負担の低減を図る。

- ・ごみ処理の流れをイメージしたキャラクターとする。

赤：焼却（もやす）、桃→破碎（くだく）、青：し尿（浄化）、

黄：最終処分（ためる）、緑：資源循環、バイオマス化（リユース・リサイクル）

- ・ R マーク（ロゴ）をキャラクターの胸に表示

- ・ 2D と 3D の 2 種類を制作

## 4. その他

センターのコンセプトに適合した、その他の環境学習・啓発機能を提案可能とする。